



2018年2月1日

各位

株式会社 I H I
 東京都江東区豊洲三丁目1番1号
 代表取締役社長 満岡 次郎
 (コード番号 7013)
 問合せ先 取締役執行役員 山田 剛志
 財務部長
 TEL 03-6204-7065

**営業外損失（持分法による投資損失）の計上及び
 2018年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2018年3月期第3四半期決算において、関連会社であるジャパン マリンユナイテッド株式会社（以下、「JMU」）の決算報告に基づき、営業外損失（持分法による投資損失）109億円を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

これに伴い、2017年11月1日に公表しました2018年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正しましたので併せてお知らせいたします。

なお、期末配当予想（1株当たり30円）の修正はありません。

記

1. 営業外損失（持分法による投資損失）の内容

当社の関連会社であるJMUが建造中のLNG船において、防熱工事の工程遅延などを受けて、建造工程やコストを見直したことにより、当該案件の工事原価見通しが前四半期末に比べて増加し、採算が悪化したいたしました。これに伴い、当社はJMUの決算報告に基づき、当第3四半期決算に持分法による投資損失109億円を計上することとなりました。

2. 2018年3月期 通期業績予想数値の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2017年11月1日発表)	1,550,000	65,000	57,000	23,000	148.97円
今回修正予想 (B)	1,600,000	71,000	39,000	11,000	71.26円
増減額 (B-A)	50,000	6,000	△18,000	△12,000	—
増減率 (%)	3.2	9.2	△31.6	△52.2	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	1,486,332	47,389	22,011	5,247	33.98円

3. 通期業績予想修正の理由

売上高は、概ね前回発表予想どおりとなる見込みです。

損益面では、営業利益は、北米で遂行中のプロセスプラント案件において、現場建設工事の工程キャッチアップのための費用が増加するものの、民間向け航空エンジンにおける採算改善や為替の好転などにより、増益となる見込みです。

一方、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益は、持分法による投資損失が、当第3四半期決算の実績に加えて、JMUの今後の原材料価格の上昇リスクなどを見通しに織り込んだことにより、減益となる見込みです。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上